

ごあいさつ

この度、株式会社シービーシー(CBC)の臍帯血保管事業に感銘を受け、代理店を始める事としました。

公的な臍帯血バンクは、全国に 11 機関しかありません。保管にはお金がかかる事なので、国はこれ以上、予算的に公的機関を増やすことができない状況です。現在、日本海側(山陰・北陸・東北)、四国にはありません。出生時の臍帯血は、廃棄する・寄付する(公的機関)・保管する(民間機関)のいずれしかありません。民間の臍帯血バンクは、日本に 3 社だけです。その中で、株式会社シービーシー(CBC)は、1 番の施設を有する企業だと思います。

アメリカでは、13 の州で医師は妊婦さんに臍帯血を、廃棄する・寄付する・保管する、の 3 つを説明することを義務付けています。出産された方々の 7.8%が民間の臍帯血バンクに保管しています。韓国では 18%の方が預けています(首都ソウルでは、預けていない人の方が少ないそうです)。日本においては、2009 年には全国で 109 万人赤ちゃんが誕生していますが、残念なことに公的バンクへの寄付を含めて、たった 0.6%の方しか保管されていません。それは、多くの皆さんが保管できることをご存じでないからではないでしょうか？たくさんの方々に、臍帯血をこれから生まれてくる赤ちゃんやご家族のために民間バンクによって個人保管できることを知らせていくことが、とても大切だと感じます。

毎年、2 万人以上の方が白血病を発症しています。ちなみにこの数字は交通事故の 4 倍との事です。その約 75%が 15 歳未満での発症です。臍帯血を保管しておくことにより、完治していくことができます。日本での臍帯血移植第 1 号は、神戸でお守りのためにと 2 人目の赤ちゃんが生まれた時に保管された方です。1 年後、4 歳のお姉ちゃんが白血病にかかりました。白血球の型が一致し、妹の臍帯血がお姉ちゃんに移植されました。もし、骨髄移植なら 1 歳の赤ちゃんに、全身麻酔をかけて摂取しないとイケません。これは、とても危険なことです。しかし、臍帯血を保管していたため、その血液を 1 時間かけてお姉ちゃんに点滴で移植するだけでした。

また、生まれてくる赤ちゃんの 500 人に 1 人が脳性麻痺になっています。日本では、1 日に約 3,000 人の赤ちゃんが生まれています。という事は、毎日 6 人の赤ちゃんが脳性麻痺で誕生している事になります。アメリカで、2008 年に脳性麻痺の赤ちゃんに初めて臍帯血移植が行われました。5 日目に激変が起き、しゃべり始め、手足が動き始めたのです。お医者さんも、7 歳までには完全に正常な状態になると言われています。それ以降、2 年間で 200 例以上の臨床が行われています。脳性麻痺というのは、大人の脳梗塞と同じ状態との事です。

再生医療の研究も世界各国で行われています。国内では、2010 年 9 月に岡山の林原生物化学研究所で、臍帯血から作製した免疫細胞が、癌細胞の中に入り込み癌細胞を死滅させたことが、世界で初めて発見されました。5~6 年後をめどに臨床を始めたいとしています。

最後になりましたが、臍帯血医療は、無限の可能性があると思います。出産の時しか臍帯血を摂取する事はできません。産んだ後に知ってもどうする事もできません。臍帯血の持っている可能性を、株式会社シービーシー(CBC)臍帯血保管事業の代理店業務を通して、1 人でも多くの方に知って頂きたいと同時に、社会にも貢献していきたいと思っています。

有限会社 ドッグコム.

代表取締役 江川 榮規